

長住大通り商店街

どんな商店街？

長住大通り沿いに点在する会員店舗で構成されており、主な利用者は日常生活圏内の近隣住民です。

商店街会員を中心に「ながずみ夜市」「長住まつり」を開催し、南区に住む地域住民の認知向上に繋げています。また、九州産業大学や大分県玖珠町と連携した、ブランド力の強化に挑むなど、地域からの情報発信に精力的に取り組んでいます。



ながずみ夜市及び花火大会

防犯意識向上に街を挙げて取り組むために

1. 商店街の課題

夜市を開催することで、普段夜にはシャッターを閉めている商店に対しても明かりを灯してもらい、**地域課題でもある防犯意識**について街を挙げて取り組んでいます。また、夜市をきっかけに、普段商店街に触れる機会の少ない働きざかりの親御さんにも商店街の魅力を発見してもらい、リピーター獲得につなげたいと考えています。

2. 「ながずみ夜市」を開催

このイベントを13年続けてきて、一昨年初めて花火を上げ、「長住大通り商店街」の認知度向上につながったと実感したため、今年も引き続き実施することとしました。当日は、商店街店舗の軒先での特卖会や、芸術おもちゃ花火大会等を実施しました。前回までの来場者からの口コミの広がりやSNS発信などで長住に対する期待の高さを感じることができました。



3. 効果があったと思われること

花火大会開催中に高台から目視により前年と比較検証を実施しました。

予想を上回る来場者で会場は埋め尽くされ、スタッフの目視、警察との協議の結果、**前年度120%超を達成し、SNSのフォロー数も増加**しました。

4. 来街者の声・会員さんの声

○来街者の声

- ・長住が花火を上げられるくらい元気になってうれしい
- ・今後もぜひ開催してほしいので、会員さんたちを応援したいです

○会員さんの声

- ・予想以上の人出で、是非続けてほしい。との声が多かったです
- ・地域住民からの期待が大きいため、さらなる発展を目指していきたいです



5. 反省点や今後の取り組み

「ながずみ夜市」も14年目を迎え、地域住民からはさらに期待する声を多くいただくようになってきました。「ながずみ夜市」は商店街のみならず、地域の大事な行事としての位置づけを確立しつつあります。

今後も花火大会を継続するのであれば、収益の確保は急務かつ必須であり、地域と連携しながら今後も継続できるよう努力していきたいです。